ふじみ野

市議会だより

No.78
R7.8.1 発行
埼玉県ふじみ野市議会

CONTENTS

これからも未来に向け
着実に歩み続ける　2p
提出議案等と審議結果　4p
連載企画 子どもたちに聞きました　5p
市政を問う！一般質問 17人が政策論議　6p

働く人シリーズ㊼おそば屋さん

お店での一日は、40年使い続けている特注の器の中で、そばを打つことから始まります。そばの実の収穫時期によって色や風味も違うので、その季節ならではの味わいを生かして美味しく提供できるように工夫することも大切な仕事です。

（裏表紙に関連記事を掲載）

令和7年第2回定例会

5/30 ▼ 6/19

令和7年第2回定例会では、一般会計補正予算をはじめ、市文化施設整備事業建設工事請負変更契約の締結、町の区域の変更及び字の区域の廃止など、市長提出議案を慎重に審議した結果、議案19件全てが可決されました。

なお、消費税の減税に関する意見書提出を求める請願ほか1件の請願については、不採択となりました。

補正予算
全員賛成で可決

上野台小学校の借地を用地取得へ

令和7年度一般会計補正予算（第1号）

上野台小学校は国有地を借地として借り上げ、学校運営を行ってきた経緯がありま す。今回、用地取得するための補正予算が計上されました。

問 用地取得するメリットとデメリットは。

答 年間2500万円の借地料を支払ってきた。賃借と購入の比較検討を行った結果、将来的な財政負担の軽減がメリットである。購入に当たり、予算計上が12億円というのがデメリットである。

問 賃借と購入の将来的な差異は。

答 国の法律等に基づいて、減額割合を乗じて積算している。単年度だけで考えると、賃借の金額と購入費と言うのは大きな乖離はあるが、長期的には有益と考える。

問 具体的な計算方法は。

答 国でも鑑定評価を行うので、今回正確な数字を示せない。鑑定額、借地権割合及び学校用地に供していることを踏まえた予算額である。

変更契約の締結
全員賛成で可決

さらに魅力ある文化施設に

市文化施設整備事業建設工事請負変更契約

建設中のステラ・イーストホール棟の工事内容の変更及び工期の延長と、ステラ・ウェストの北側駐車場整備により、請負契約が変更されました。

問 ステラ・イーストホール棟の追加整備の内容は。

答 日本舞踊や能、歌舞伎等に対応する所作台と仮設花道を追加し、花道は着脱可能な仕様にする。

問 屋外イベントスペースの仕様変更の概要は。

答 ホール棟側半面をゴムチップ舗装にして安全性を確保し、多目的に活用する。また、上野台小学校側半面をカラーアスファルトとし、イベントや災害時の車両避難場所等としても整備する。

問 工事延長の理由とその期間は。

答 アスベスト除去工事等の影響で、竣工を令和7年8月下旬、全体工期の終期を令和7年9月26日へ延長する。

ステラ・ウェストの北側駐車場整備

問 整備概要の内容は。

答 ステラ・ウェストと大井総合福祉センター駐車場間に通路を整備し、カラー舗装や一方通行化等で安全対策を実施する。

まちづくり
賛成多数で可決

国道254号バイパス産業団地の町の区域は「福岡新田」に

町の区域の変更及び字の区域の廃止

国道254号バイパスふじみ野地区土地区画整理事業の施行区域の町の区域を「福岡新田」に統一し、字を廃止する議案が賛成多数で可決されました。委員会審査では、市と組合の間で一部認識の相違が認められたため、組合理事長の参考人質疑を含む再審査及び附帯決議を行いました。

問 変更及び字を廃止する理由は。

答 施行区域には3つの町の区域と複数の字がある。福岡新田に編入し、字をなくすことで土地管理の円滑化や効率化が図られる。

問 福岡新田とした理由は。

答 他の町名にすると福岡新田が分断されてしまうことによる混乱を避けるためである。

再審査

問 福岡新田以外に組合側からの提案は。

答 協議の中で谷田新町という提案はあった。その後文書での申し入れはなかった。

問 変更に際して、利害関係人等の同意は必要か。

答 同意や意見書の提出を必要とする法令上の規定はないが、関係者に対しては丁寧に説明していく方針である。

参考人質疑

問 組合内では町名についてどのような協議があったのか。

答 理事会で谷田新町という町名を決定し、市にもそれを提案していたが、話し合いを持ってもらえなかった。

問 市が福岡新田と決定したことについて、理事会ではどのような議論があったか。

答 残された期間もないことから、断腸の思いで市の方針に従うことを多数決で決定した。

問 今から再提案する考えは。

答 工期延長を避けるために差し控えたい。

附帯決議

・換地処分に至るまでの間、組合と十分に話し合いを行い事務執行を行うこと。

・組合と良好な関係を築き円滑な事業終結に向けて取り組むこと。

◆議案に対する賛否

青藍会	板倉　篤 議員
公明党	川畑　京子 議員
自由清進の会	原田　雄一 議員
日本共産党	床井　紀範 議員

議会新人事

議長
加藤　恵一

副議長
金濵　高顕

正副議長就任挨拶

５月30日の定例会におきまして、正副議長に就任いたしました。ふじみ野市誕生20周年の節目にこの大役を仰せつかり、身の引き締まる思いでございます。

物価高騰や災害対策など様々な課題への対応が求められる中、二元代表制の一翼を担う議会としての機能を十分に発揮し、議員が一丸となって市民の皆様の安全・安心な暮らしの実現に取り組んでまいります。

今後とも、市民の皆様におかれましては市議会に対し、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◎ 委員長　○ 副委員長

総務・教育常任委員会	市民・都市常任委員会	生活・福祉常任委員会	予算・決算常任委員会	議会運営委員会
◎民部　佳代	◎小林　憲人	◎川畑　京子	◎山田　敏夫	◎山田　敏夫
○鈴木　宏樹	○板倉　篤	○足立志津子	○塚越　洋一	○塚越　洋一
田中　早苗	古越　孝子	金濵　高顕	委員長・副委員長を除く全議員	板倉　篤
鈴木　美恵	川島　秀男	坪田　敏孝		近藤　善則
鈴木啓太郎	近藤　善則	前田　広子		島田　和泉
加藤　恵一	原田　雄一	島田　和泉		川畑　京子
床井　紀範	塚越　洋一	山田　敏夫		小林　憲人

５月30日現在

※議会広報常任委員会は裏表紙をご覧ください。

令和７年第２回定例会の提出議案等と審議結果

●全会一致で可決した議案

議案番号	議案名	議決結果	議案番号	議案名	議決結果
第 42 号議案	専決処分の承認を求めることについて（ふじみ野市税条例の一部を改正する条例）	承認	第 51 号議案	ふじみ野市道路線の認定について	可決
第 43 号議案	専決処分の承認を求めることについて（ふじみ野市都市計画税条例の一部を改正する条例）	承認	第 52 号議案	ふじみ野市道路線の認定について	可決
第 44 号議案	専決処分の承認を求めることについて（ふじみ野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認	第 53 号議案	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意
第 45 号議案	専決処分の承認を求めることについて（固定資産評価員の選任について）	承認	第 55 号議案	ふじみ野市立福岡中学校校舎Ａ棟長寿命化予防改修工事請負契約の締結について	可決
第 46 号議案	令和７年度ふじみ野市一般会計補正予算（第１号）	可決	第 56 号議案	ふじみ野市立花の木中学校校舎大規模改造工事請負契約の締結について	可決
第 47 号議案	ふじみ野市税条例の一部を改正する条例	可決	第 57 号議案	ふじみ野市立博物館整備工事請負契約の締結について	可決
第 48 号議案	ふじみ野市文化施設整備事業建設工事請負変更契約の締結について	可決	第 58 号議案	ふじみ野市立博物館展示作成業務委託契約の締結について	可決
第 49 号議案	財産の取得について	可決	第 59 号議案	財産の取得について	可決
第 50 号議案	ふじみ野市道路線の認定について	可決			

●賛否が分かれた議案等

○：賛成　×：反対

議案番号	議案名	議決結果	青藍会								公明党			自由清進の会			日本共産党			会派に属さない	会派に属さない
			田中 早苗	川島 秀男	前田 広子	鈴木 宏樹	板倉 篤	加藤 恵一	小林 憲人	山田 敏夫	古越 孝子	鈴木 美恵	島田 和泉	川畑 京子	坪田 敏孝	鈴木啓太郎	近藤 善則	原田 雄一	足立志津子	床井 紀範	塚越 洋一	金濱 高顕	民部 佳代
第 54 号議案	町の区域の変更及び字の区域の廃止について	可決	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	欠席	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○
第 60 号議案	監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	欠席	除斥	×	×	×	×	×	×	×	○	○
請願第１号	消費税の減税に関する意見書提出を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	議長	×	×	×	×	欠席	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×
請願第２号	国に「消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）廃止の意見書」提出を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	議長	×	×	×	×	欠席	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×
動議	市議会議員に対する暴力行為を許さない決議を求める動議	否決	×	×	×	×	×	議長	×	×	×	×	欠席	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×
動議	議長不信任の動議	否決	×	×	×	×	×	除斥	×	×	×	×	欠席	×	○	○	○	○	×	×	×	副議長	×

※議長は採決に加わっていません。
※除斥とは、審議の公平性を期すために、審議事件と一定の利害関係を有する議員は、当該事件の審議に参加することができないとする制度のことです。

島田 和泉議員逝去

島田和泉議員が令和７年７月３日にご逝去されました。享年63歳。

故島田和泉議員は、平成27年に初当選以来３期にわたり、ふじみ野市の住民福祉向上と地方行政発展のためにご尽力され、令和５年５月19日から令和７年５月30日までは市議会議長としての職責も果たされました。
ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

請願 不採択　インボイス廃止の意見書提出を求める請願

国に「消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）廃止の意見書」提出を求める請願が事業者団体２者から市議会に提出されました。審議の結果、賛成少数で請願は不採択となりました。

主な反対意見

インボイス制度は、税の公平性の点で重要である。制度定着に向けて進んでいるので、制度廃止は混乱をきたす。

また、政府からの補助制度等もあり、事業者には負担がかからない。

主な賛成意見

業者間の取引でインボイスがないと、仕入れ分の消費税を差し引くことができない。免税事業者は、登録を事実上強制されている。消費税を一律５％に減税すれば、インボイスは不要である。

請願 不採択　消費税減税の意見書提出を求める請願

市民172名の署名付きで、消費税の減税に関する意見書提出を求める請願が市議会に提出されました。審議の結果、賛成少数で請願は不採択となりました。

主な反対意見

消費税は地方自治体にとって重要な財源である。減税は税収減につながり、福祉や教育、インフラ整備への影響が懸念される。地域住民に提供されるサービスの質が低下するおそれがある。

主な賛成意見

消費税減税が一番の物価高騰対策である。消費税５％の引き下げで、平均的な勤労者世帯で年間12万円の減税になる。大企業と富裕層への優遇税制を改革すれば、財源は十分確保できる。

連載企画

子どもたちに聞きました

in元気・健康フェア（20周年記念事業）

将来なりたい職業とその理由や好きなことについて、小学生にインタビューしました。

一輝さん　インテリアの仕事がしたいです。お父さんがインテリアの仕事をしていて、お母さんも以前していたからです。

幸依さん　まだなりたい職業は分からないけれど、縫い物が好きです。この前、布でキーホルダーを作りました。

倉田一輝（くらたいっき）さん　倉田幸依（くらたゆい）さん

その他の声

- 消防士になりたいです。お父さんが警察官、お母さんが看護師をしているので、僕も人を助ける仕事がいいと考えました。
- 宇宙飛行士になりたいです。スターウォーズの映画を見て、宇宙から地球を見たいと思ったからです。

市政を問う！

一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、17人の議員が一般質問を行いました。掲載した内容は各議員本人が要約したものです。なお、全ての質問と回答は市議会ホームページの会議録で閲覧できます。（8月下旬掲載予定）

予算編成過程の公開

坪田　敏孝 議員

問　市自治基本条例第19条に情報を市民に積極的に提供とある。川越市等近隣市、全国の先進都市で公開している。原課の要求額、審査意見、審査結果を公開する考えは。

答　意思形成過程であり、3か年実施計画に基づいて編成しており、現時点で公開する考えはない。

児童虐待の防止・対策

問　不十分な養育環境の子が対象の国の児童育成支援拠点事業の取り組み

児童育成支援拠点事業の取り組み
こども家庭庁ホームページより抜粋

答　実施していない。他の自治体の取り組みを調査する。

不登校の子の第三の居場所を整備

問　石川県加賀市は、児童センターを平日日中の居場所としている。整備の考えは。

答　児童センター、今後開設予定の博物館、文化施設など、第三の居場所として活用できるよう各課と連携し、中長期的な体制づくりを研究する。

防犯カメラの設置と補助

問　自治組織、商店街等による防犯カメラの設置への補助の考えは。

答　補助金を交付している自治体に対し、調査を行っている。

災害時における応急住宅の確保

田中　早苗 議員

災害時にUR賃貸住宅の活用を

問　県営住宅やUR都市機構を応急住宅として活用する考えは。

答　県の取り組みとして、災害等で住宅を失い困窮している県民に当面の生活の場を提供と、生活基盤の立て直しを支援するために、県営住宅の空き室を一時的に応急住宅として利用している。

　UR都市機構の取り組みとして、国からの要請により、UR賃貸住宅の空き室を応急住宅として提供している。

　被災した高齢者が安心して暮らせるよう、各種相談に対応する生活支援アドバイザーを配置したUR賃貸住宅の提供を行っている。しかし本市にあるUR賃貸住宅は配置がないため、一時的な住まいとして利用はされていない。

災害時における避難所外避難者への支援

問　在宅・車中泊避難者への支援の考えは。

答　指定避難所の避難者と同様に、市が備蓄している食料、水、生活用品を提供するほか、国や県などからのプッシュ型支援物資も提供する。

　また、市職員を地区対策本部に派遣し、自治組織等が把握している避難所外避難者の情報を収集することで物資の提供が円滑に進むと考えている。

一般質問

水道料金の減免

金濵　高顕 議員

問　物価高支援として、水道料金の減免を再度実施できないか。

答　国からの交付金を財源として、過去実施することができた。水道事業会計だけで実施することは困難なことから、市全体で考えていかなければならない。

問　限られた財源の中で水道料金の減免にこだわらず、現状の市民生活に何をもって支援を行うべきと考えるか。

答　水道事業のみならず、その手法を含め、国の動向も注視をして、市民生活のためにどのような物価高騰対策を取れるのか検討を進めている。

公金の運用状況

問　運用益はどのくらいか。

答　令和6年度の全体で4565万6806円であった。

問　リスク管理と実績の追求は。

答　安全性と流動性を確保した上で、預金より金利の高い債券を購入するなどして運用収益に努めてきた。

問　金利が上昇傾向であり、債券価格の下落リスクが生じてきたと考えるが、市の認識は。

答　今後について、安全性を第一に考えた運用を図っていきたいと考える。

共生社会推進への取り組み

前田　広子 議員

問　市手話言語条例制定による庁舎内や公共施設での活用状況は。

答　正規職員の手話通訳士1名配置し、聴覚障がいのある人などが、安心して利用できる環境を整えている。

手話でコミュニケーションを

問　緊急時、災害時の聴覚障がい者への現状と対策は。

答　各指定避難所や福祉避難所にコミュニケーション支援ボードを常備し、音声以外での対策を講じている。また入間東部地区事務組合消防本部では、音声の119番通報が困難な人を対象としたシステムを導入している。今後も当事者の意見を伺い、対策を講じていく。

障がい児、障がい者家族の支援

問　放課後等デイサービスや生活介護事業所の活用状況は。

答　令和6年度ではそれぞれ438人、184人の人が利用しており、送迎も行われている。利用者は増加傾向にあるため、受け皿の確保が課題と捉えている。

問　サービス利用先を結ぶ相談支援専門員の活用は。

答　利用者や家族に他の福祉サービスをコーディネートし、相談を受けている。今後も多様化するニーズや課題を把握し、地域で安心して生活できる環境づくりに努めていく。

若者を犯罪から守るために

古越　孝子 議員

若者を狙う特殊詐欺に注意

問　中学3年生を対象に闇バイトの危険性について、社会保険労務士等の専門家による注意喚起の出前授業を開催してみては。

答　現在実施している保護司による出前授業に加え、社会保険労務士等の専門家を招き、生徒の職業観を養う学習について、市内各学校に周知する。

地域の防犯力向上のために

問　個人住宅の防犯カメラ等の購入費用の一部を補助する考えは。

答　設置費用を補助し、設置台数を増やすことは、市民の防犯意識を高め、犯罪抑止につながることも期待されるが、プライバシー保護の観点から様々な課題がある。

　他市事例等を調査し課題や対応等を整理し、購入補助制度について検討する。

心の健康づくり

問　こころの体温計の導入について市の考えは。

答　気づきにくい心の疲れ具合を目に見える形で知ることができ、早めのメンタルケアにつながることが期待できる。導入自治体での利用実績や効果等を調査するなど検討をしている。

本市で取り組み可能な食料安全保障

川島　秀男　議員

問　食料安全保障に対する市の考えは。

答　食料の安定的な供給を確保するため、持続的な農業の発展が必要であり、農業の生産性向上や農地及び農業の担い手の確保が必要不可欠である。

　また、安定的な農業を継続していくためには、農業従事者の努力だけでなく、農業への理解を市民全体に深めていく必要が重要であると認識している。

市が運営する農業入門塾

問　農業入門塾による新規就農希望者は。

答　現在、市民農園や自宅敷地内での栽培など自家消費用の栽培にとどまっており、塾生の中から新規就農につながったケースはない。農業入門塾の卒業生及び第3期目の塾生の中から新規就農希望者があった場合、速やかに就農につなげられるよう努める。

地域の農業を守ろう

学校給食での食料品高騰

問　今後も食料品の高騰が続いた場合、市はどのような対策を考えているか。

答　物価高騰分については、保護者に追加負担を求めることなく、公費を投入していく方針である。

　また、献立内容や調理方法の工夫によるコスト削減にも取り組む。

歴史ある旧江戸屋の活用

民部　佳代　議員

問　旧江戸屋をシェアオフィスやチャレンジショップとして活用しては。

答　歴史的建物の保存を目的とし、まずは臨時の出店など検討する。今後とも交流の場、気軽に立ち寄れる場として、総合的に活用を検討する。

江戸時代の商売の歴史を今に

高齢者の補聴器購入補助を

問　補聴器購入の補助がある県内市町村は。

答　63市町村のうち21市町に補助がある。

問　補聴器は認知症予防や孤立対策に効果がある。市で補助を行う考えは。

答　加齢性難聴に対する理解や早期発見、早期受診を促進する取り組みを行い、他の自治体の動向を見ながら総合的な視点で判断する。

子宮頸がん検診の医療機関の拡大

問　子宮頸がん検診の受診は心理的負担が大きい。川越市の病院をかかりつけにしている女性も多いが、通い慣れたところで受診できるよう医療機関を拡大できないか。

答　現在は東入間医師会管内の医療機関で受診できるが、受診機会を確保するため今後検討する。

学びを支える学習環境

鈴木　宏樹　議員

問　ステラ・ウェストの学習席の状況は。

答　施設全体では合計170席ある。

　平日の夜間や休日は自由席が満席になる。

　フリースペースや利用に空きがある諸室も自主学習が行える自由席の拡充を行ってきた。

　夏休み等のホール利用がない場合は、1階楽屋等を学習スペースとして開放している。

公共施設の電源利用席

問　電源利用席は。

答　4階に10席コンセント付きの机がある。整備中のステラ・イーストホール棟には14席コンセント付きカウンターテーブルを含めた34席の自由席を設置する予定である。

安心して使えるAED

問　管理している箇所と台数は。

答　市内各公共施設77ヵ所、96台ある。

　市内公共施設含め182ヵ所に設置がある。

問　24時間営業コンビニと連携し設置検討は。

答　非常に高価な医療機器であり、正常な状態で使用できるよう保守点検を毎日行う必要がある。

　適正に活用できるか課題を整理し、設置状況などを考慮した上で今後研究する。

安心安全を守る環境づくり

鈴木　美恵　議員

問　茎に有毒成分を有し、強い繁殖力で生態系に影響を与えるナガミヒナゲシの駆除は。

答　特定外来生物ではないが、同様の注意が必要なものと認識している。ホームページでの注意喚起、駆除の協力、駆除方法の周知を行っている。

　今後は市報への掲載、チラシ作成、SNSによる周知と共に、最適な駆除時期である冬前に情報発信していく。

問　ハクビシンは、ふん被害など衛生面で心配である。駆除は。

かわいい花には毒がある

答　野生動物のため、法律により許可なく捕獲が禁止されている。

　なお、駆除に係る補助金を開始した自治体があることを認識しており、本市でも被害状況を見ながら導入について検討していく。

子どもの防災を考える

問　子どもが持ち歩ける防災ポーチづくり講座を。

答　他自治体の防災ポーチづくり講座の事例を研究し、小学生に向けた防災学習の場などにおいて周知を行う。

問　避難所に子ども向けのお菓子の備蓄を。

答　ストレス解消にもつながるよう、なじみのあるビスケット菓子を備蓄している。今後も幅広いニーズに沿った備蓄を検討していく。

保護司が取り組む犯罪防止と非行防止

板倉　篤　議員

問　本市の保護司の現状は。

答　12名が活動しており、1人平均2・16件を担当している。

問　若者と連携した犯罪や非行防止の啓発のための取り組みは。

答　今年度はふじみ野高校の生徒、文京学院大学の学生と一緒に駅頭キャンペーンを行う。

　また、中学3年生を対象にした保護司による特別授業を毎年実施し、犯罪被害防止や更生保護を学ぶ機会を提供している。

市民協働のひきこもり対策を

問　ひきこもり当事者のニーズに応えるために市民活動団体等の協力を求めては。

答　空き店舗を借用したフリーサロンふらっとや集会所を借用した創作活動、福祉施設における清掃活動を実施している。それにより、社会参加と地域交流の機会が増えてきている。

膝まで冠水した川越街道旧道

都市型水害の減災に向けて

問　県の雨水浸透マス設置補助事業再開は。

答　令和7年度ふじみ野市分の県の予算が確保された。おおむね50から60基が設置できる見込みで、雨水流出抑制効果が期待される7町会に説明を行う予定である。

不登校問題への対応は

塚越　洋一　議員

問　市内小・中学校における不登校の現状は。

答　令和6年度が小学校109人、中学校173人。全国的傾向と同様に本市も増加傾向にある。

問　市教育委員会の支援体制と施策は。

答　教育相談室での相談、適応指導教室の設置、学び育ちサポーターの配置など、児童・生徒の不安や悩みに寄り添う相談・支援体制を整備している。フリースクールとの連携も深めている。

問　子どもへの理解、休息と回復の保障についての考え方は。

答　無理に登校を促すような関わりは、かえって子どもの心身に負担をかける可能性がある。

　一方で、必要に応じて登校を段階的に促していく積極的な関わり方も取り入れながら、一人一人の実態に応じて十分に時間をかけて子どもが安心して学べる環境づくりに取り組んでいく。

超低空飛行への対応は

問　市上空での超低空飛行について、市の対応は。

答　市民の安全・安心な生活を確保するため、引き続き県基地対策協議会を通じて、入間基地周辺市町と共同で要望を行っていく。

川崎調整池の政策効果は

床井　紀範　議員

調整池整備で内水浸水の軽減

問　平成29年台風第21号を想定した場合の川崎調整池の効果は。

答　川崎調整池整備事業は、貯水量約3万8千㎥の調整池及び排水能力毎秒約3・5㎥のポンプ施設の整備を行っている。

　想定される台風と同規模降雨量の降雨でも、地形的に雨水が集まりやすい場所でも浸水深約50㎝以下に抑えられると、報告されている。

　なお、川崎調整池の運用は、川越江川の水位が、荒川工事基準面＋8ｍに達すると、取水ぜきから導水きょを通り、調整池へ流入し、樋門操作に関係なく調整池に雨水を取り込める。

市文化施設における社会教育事業の充実を

問　住民の学習権を保障するために専門職の配置を。

答　5月7日より、社会教育主事を文化施設に配置している。これまで以上に、社会教育士との連携を強化し、住民の学習機会の提供と地域力の向上に貢献する。

問　社会教育の視点での利用者団体の系統的育成を。

答　社会教育の考え方に照らし、社会教育団体等の育成を図っている。

宅地並みの値段で田んぼを買う　下福岡城山公園

鈴木　啓太郎　議員

問　令和7年度一般会計予算で、下福岡城山公園用地取得の議案2755万円が計上された。同公園は平成24年に一部を約2900万円で取得し、今回改めて用地取得の議案が出されたが、その理由は何か。

答　地権者の要望があり、予算の都合で一部取得となった。

問　所得税の特別控除は行われているのか。

答　1回目は1500万円の控除が行われた。税務署と事前協議するので今年度も適用になるか答弁できない。

問　地権者は、政党関係者であり、公職もあり、市長と親しい間柄であると聞くが、問題ないのか。

答　地権者の思想、信条や属性、公職の有無などは一切考慮していない。

問　平成24年の鑑定書では公園用地の土地は雑種地と書かれているが、現在の登記簿では田になっている。鑑定額に違いはないのか。

答　公有地として市街化調整区域を買うときは、公園であれ道路であれ、全て宅地見込みで評価している。

問　近くに第2運動公園ができ、利用者も減った。市の計画ではどうなっているか。

答　緑の基本計画では、借地公園等は将来的に返還を求められる可能性があり、地権者の意向に配慮した上で買収するとしている。

下福岡城山公園

聞こえのバリアフリーのまちづくり

足立　志津子　議員

問　聞こえのバリアフリーについての認識と、相談窓口の拡充は。

答　住み慣れた地域環境で生活し続けるために、聞こえに関する障壁を取り除くことは必要なことである。相談支援体制の充実を図りたい。

富士見橋に設置したスムーズ横断歩道は

問　実証実験の結果と本格設置までの経過は。

答　市は実証実験の中で速度抑制を確認した。ポストコーン設置、路面標示や看板等で注意喚起し、ドライバーの速度抑制意識を促す。

福岡江川雨水幹線の内水浸水対策

問　産業団地調整池完成後の運用は。

答　東側は7万1634㎥、西側は1万4720㎥である。完成後、出水期の流入データを基に運用方法等を検討し、浸水被害の軽減に努める。

終戦80年と平和事業の在り方は

問　ふじみ野市平和宣言に依拠した事業の実施は。

答　市民の願いである恒久平和実現に向け、終戦80周年を機に平和の尊さを再認識できる事業を実施したい。

福岡江川緑道に防犯カメラを

小林　憲人　議員

問　子ども達が安心して登下校できる状況や市民が安心して歩くことのできる状況の創出を。

答　福岡江川緑道の改修計画を策定する際に研究していく。

福岡江川緑道

よりきめ細かな発達支援を

問　乳幼児期の発達支援に関して、市ならではのサポート体制の構築に向け、市内に新設される特別支援学校との連携を。

答　特別支援学校と連携し、子どもの発達支援事業の充実に努めていく。

より円滑な地域福祉の活動を

問　地域の中で活動している人から、活動に必要な個人情報の提供を受けられず、必要な支援につなげられなかったと聞くことがある。情報共有指針を作成しては。

答　現場の声を踏まえて、情報共有指針や個人情報の共有の手引きを検討していく。

上下水道課に営繕係の創設を

問　技術継承や万一の災害を想定すると営繕係が必要では。

答　近隣他市の動向や社会情勢の変化など、様々な状況を踏まえ研究していく。

上福岡駅東口駅前広場の整備

近藤　善則　議員

問　駅前広場用地買収の進捗状況は。

答　14筆中12筆は買収済だが、残り2筆については、代替地等の課題があり、地権者と対話を行っている。

問　駅に下りエスカレーターを設置しては。

答　バリアフリー法によれば、エスカレーターよりエレベーターの設置が優先される。下りエスカレーターよりエレベーターの利用が望ましい。要望については慎重に判断する。

問　駅前広場の整備完成時期は。

答　完成時期を含めた整備スケジュール等の検討は、用地取得の進捗と整合を図りながら進めていく。

連続立体交差事業の着手方法

問　東武東上線大山駅付近の連続立体交差事業は、東京都、板橋区、東武鉄道株式会社が事業主体となって都市計画道路として実施している。本市の着手方法はどうなっているか。

答　県並びに沿線市町と協力を図りながら、東武鉄道株式会社に粘り強く要望していく。

下りエスカレーターを東口に

市長選挙で多選を許さない

原田　雄一　議員

問　高畑市長初当選後の平成22年、市長の在任期間に関する条例提出の意図は。

答　市長の職に同一の者が長期にわたり在任することに伴い、発生するおそれのある弊害を防止するためである。

問　弊害の意味は。

答　行政執行におけるマンネリ化や政策の偏り、あるいは独善的になり得るのではないか。

　職員の助言や進言にも耳を傾けなくなるのではないか。

　職員の採用等においても弊害が起こり得るのではないか。

　これらのことは、一般論として多くの方に認められていると認識している。それは首長が予算編成権や人事権、許認可権などの大きな権限を持つからであり、権力の濫用につながるものであると考える。

　多選によって弊害が生じやすくなるのではないかという基本的な考えは変わっていない。

物価高対策

問　物価高対策として上下水道料金を減免しては。

答　市単独では厳しいため、国の動向を踏まえ検討する。

市浄水場

第78号　2025年8月1日発行

編集・発行／埼玉県ふじみ野市議会
〒356-8501 埼玉県ふじみ野市福岡1-1-1
TEL 049-262-9046　FAX 049-269-4847（議会事務局）

編集委員がインタビュー！

表紙：働く人シリーズに寄せて

おそば屋さん に伺いました

Q お仕事を始めたきっかけを教えてください。

A もともと会社員になるつもりはなく、東京都内のそば屋で数年間修行し、のれん分けをして独立しました。

Q 力を入れていることを教えてください。

A 10年ほど前から、近隣の農家に協力していただき、そばの栽培を始めました。そばを一から育て、収穫祭なども行います。
また、地場産の野菜を直接農家から仕入れています。仕入れた野菜は天ぷらなどでお客さんに振舞っています。

Q 大変なことは何かありますか。

A 物価高、米価の高騰も大変です。お昼時はサービスでご飯を出していましたが、今はなかなか難しいです。
そばの仕入れの値段はそれほど変わらないので、何とか手ごろな価格で、お客さんに召し上がっていただいています。

芦野（あしの）　仁（ひとし）さん

市議会だよりは、ふじみ野市のホームページからも閲覧できます。
市議会の会議録も見られます。
録画放映やSNSもご覧ください。

ふじみ野市議会　検索

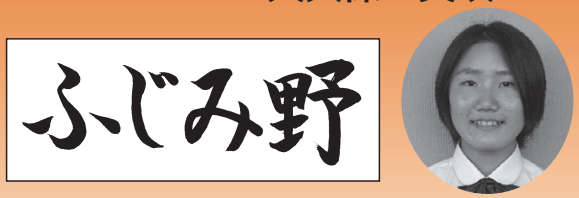
6月定例会の傍聴者は72人でした。

次の定例会の
開会予定：9月1日　午前9:30～
市役所4階議場で開催します

請願締切予定：8月22日　午前10:00

表紙の題字を書いてくれた人

葦原中学校3年　大久保（おおくぼ）　実咲（みさき）さん



私は、ふじみ野市の中で特に図書館が好きです。友達と一緒に勉強したり本を読んだりして過ごすことができ、とても居心地がいい場所です。
これからさらに友達と集まれる場所が増えていってほしいです。

編集後記

6月定例会では議長・副議長が選ばれ、各常任委員会の委員が新しく選任されました。議会広報常任委員会も新メンバーでスタートしました。本委員会は、今後も議会活動を市民の皆さんに分かりやすく伝え、議会と市民のパイプ役になれるよう力を尽くします。

梅雨も明け、夏の太陽の日差しが眩しいこの季節です。酷暑のみぎり、体調が優れない方も多いでしょうが、お体に気をつけてお過ごしください。

今年はふじみ野市誕生20周年記念事業が目白押しです。おおい祭り、上福岡七夕まつりなど、市誕生20周年にふさわしく事業が拡充されています。夏のお出かけが心に残る思い出になるように、心よりお祈り申し上げます。

（床井　紀範）

【お詫びと訂正】

前号の12ページ「一般質問」に掲載した坪田敏孝議員の記事について誤りがありました。深くお詫び申し上げ、次のとおり訂正いたします。

中見出し　（正）民生委員選任への市の関わり
　　（誤）市職員の地域貢献

問　市職員が民生委員の活動を行う上で、地域貢献活動休暇制度を導入しては。

（正）答　地域活動に積極的に参加できるよう制度を整えていきたい。

（誤）答　すでに本市で導入している。地域活動に積極的に参加できるよう制度を整えていきたい。

議会広報常任委員会

委員長	床井　紀範	副委員長	古越　孝子
委員	田中　早苗	委員	鈴木　美恵
委員	前田　広子	委員	鈴木　宏樹
委員	鈴木啓太郎		

市議会議員による時候のあいさつ状、寄附行為等は、法律で禁止されています。ご理解をお願いします。